

新水道ビジョン推進のための 地域懇談会（北陸・甲信越地域）

グループディスカッションの 進め方について

地域懇談会のコンセプト

- 多くの関係者に参集いただき、様々な**情報共有**を図る。
- 取り組み事例ごとに、詳細な**意見交換**ができる時間を設け、議論を深める。
- 各地の先進的取り組みについて、情報伝達も行う（優良事例の情報リレーでバトンをつなぐ）。

グループ分けと概略の手順

- グループ分けは、**名簿**をご覧ください。
- **同じ所属の中でグループを交代**していただくことはかまいません。
- **休憩（１５分）**のあと、後半の再開時は、**各グループのテーブル**にお集まり下さい。
- お手荷物は、各自でお持ち下さい。
- ディスカッション（約１時間２０分）の終了後、この会場にて、**ファシリテーターによる概要報告**を行います。

グループ分けと会場について

No	タイトル	会場	ファシリテーター
1	老朽化施設の計画的更新及び耐震化について	5 0 1 研修室	厚生労働省 田中？
2	広域化について	大ホール 前方	日水コン 大澤？
3	アセットマネジメントの活用と料金設定について	6 0 1 研修室	厚生労働省 吉田？
4	小規模水道対策について	大ホール 後方	日水コン 榊原？

会場の見取り図

作成中

2
広域化

1
老朽化施設の
計画的更新
及び耐震化

4
小規模
水道対策

3
アセットマネジメントの
活用と料金設定

ディスカッションの進め方

- 自己紹介（業務・専門分野等簡潔に紹介願います。）（10分）
- グループのテーマを中心として、日頃からお持ちの問題認識を念頭に意見交換等（60分）
- 議論のまとめ（10分）
- ディスカッション終了後、再びこの会場に参集し、ファシリテーターによる概要報告（5分程度）※を行います。

留意事項

ワークショップ10カ条

- ① 聖域をつくらない
- ② 縄張り意識を持たない
- ③ 相手を非難しない
- ④ 肩書きや立場を忘れる
- ⑤ 愚痴や文句を言わない
- ⑥ 人の話をよく聴く
- ⑦ 最後まであきらめない
- ⑧ 思い込みを捨てる
- ⑨ 強がりと言わない
- ⑩ 楽しく議論する

出典：組織を動かすファシリテーションの技術：「社員の意識」を変える協働促進マネジメント（堀公俊）

- ご発言内容は集約して匿名で議事録を作成し、厚生労働省HPに掲載いたします。
- 今後の参考とするため、後日、アンケート調査を行います。

過去のグループディスカッションの様子



休憩に入ります

**これから 15 分間の休憩と
いたします。**

**15時05分になりましたら、
各グループのテーブルにお集
まり下さい。**